

雪氷写真館 ⑤ 2006-2007 年冬期に発生した雪崩事故から (積丹岳, 富士山, 立山)/Three avalanche accidents in the winter of 2006-2007

積丹岳ピリカ台 (3 月 18 日発生)



写真 1. 二人の遺体発見現場とゾンデ探索 (阿部幹雄撮影)



写真 3. あられの弱層破断面 (阿部幹雄撮影)

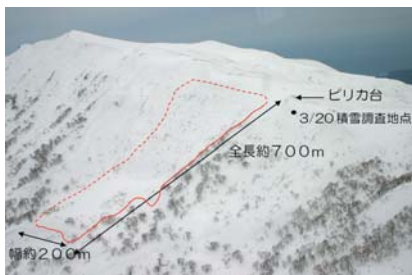


写真 2. 雪崩現場航空写真 (樋口和生撮影)



写真 4. あられの弱層 (阿部幹雄撮影)

富士山富士宮口 (3 月 25 日発生)

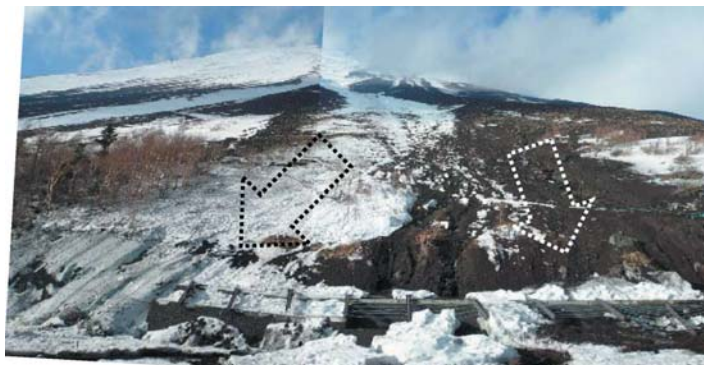


写真 5. 富士山スラッシュ雪崩 (諸橋良撮影)

立山雷鳥沢 (4 月 18 日発生)

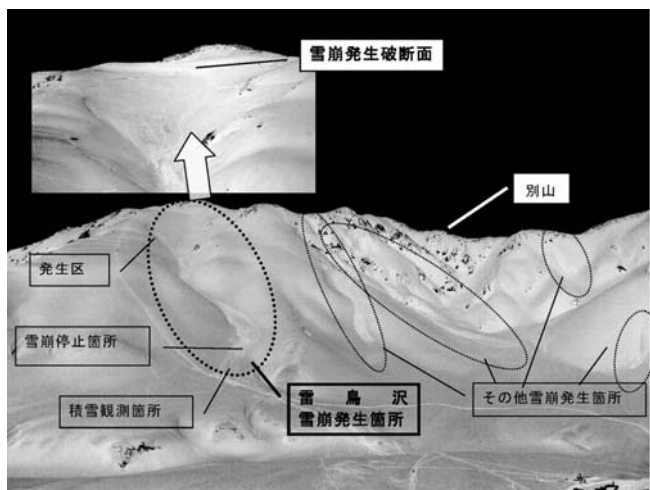


写真 6. 立山雷鳥沢とその周辺の雪崩発生状況ならびに発生区雪崩破断面 (上石 勲撮影)

2006-2007 年冬期に発生した雪崩事故から (積丹岳, 富士山, 立山)

【積丹岳スノーモービル雪崩事故】

2007 年 3 月 18 日午後 2 時半過ぎ, 1 台のスノーモービルが稜線まで登った直後, 積丹岳ピリカ台の南斜面で雪崩が発生, 斜面下部で待機していた 16 名を襲い 4 人を埋没させた。1 名は事故当日の夕方, 仲間により遺体で発見された。翌 19 日, 残る 3 名は北海道警察山岳遭難救助隊と自衛隊の捜索隊により発見・収容された。4 名は直径 10m の狭い範囲内に, 1m の深さに埋まっていた。死因は窒息だった。

写真 1: 3 月 19 日, ゾンデ捜索により反応があった。ここには 2 名が埋没していた。デブリの雪は, 軽くて軟らかく掘りやすかった。

写真 2: 雪崩の規模は長さ約 700 m, 幅約 200 m. 発生地点及び斜面に向かって左側の境界は推測による。

写真 3: 3 月 19 日, 遺体発見現場付近でみられた非常に不安定なあられの弱層 (評価 4)。

写真 4: あられの弱層は, 肉眼で見てもはっきりと分かるすき間だらけの層だった。
阿部幹雄 会員 (写真家 雪崩事故防止研究会)

【富士山スラッシュ雪崩】

2007 年 3 月 25 日, 富士山富士宮口標高 2800 m 付近から発生したスラッシュ雪崩は, 五合目付近の建物と道路施設に被害を与えた。

写真 5: 写真の向かって左側の流れはスコリアをほとんど含まない雪崩, 右側の流れはスコリアを含んだスラッシュ雪崩。手前には被災して倒壊した落石防護柵が見える。

【立山雷鳥沢雪崩事故】

2007 年 4 月 18 日に雷鳥沢で 1 名が死亡する雪崩事故が発生した。

写真 6: 発生区に明瞭な破断面が確認された。雷鳥沢以外にも多数の雪崩が発生している。写真は雪崩跡を見やすくするために明るさとコントラストを調整してある。

上石 勲 会員 (防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)